

助成対象事業成果概要報告書(概要版)

制度名	情報バリアフリー通信・放送役務提供・開発推進助成金
助成対象事業名	映画・映像・舞台芸術等に対応したクラウド型情報保障サービスの提供
助成対象事業者名	特定非営利活動法人 メディア・アクセス・サポートセンター
助成金の額	7110千円

【助成対象事業の全般について】

①	助成対象事業の概要	視聴覚障害者に向け、音声透かしや音声解析技術等とスマートフォンアプリ等を使って、音声ガイドや字幕、手話を提供するサービスを行う。
②	助成対象事業の目標	映画館、DVD・Blu-ray や舞台芸術で、スマートフォンアプリや字幕メガネを使って、インターネット上のサーバーからバリアフリーデータを提供することで、視聴覚障害者の芸術へのアクセス保障、視聴環境改善を行う。

【令和元年度実施部分について】

③	助成対象事業の実施内容	<p>バリアフリーデータアーカイブとその利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害者用字幕配信（字幕メガネ、DVD 等） ・視覚障害者用音声ガイド配信（スマートフォン） ・字幕メガネ事業（映画館貸出・個人法人貸出・学校寄贈） ・バリアフリーデータ制作 ・舞台芸術向け字幕、音声ガイド配信システムの提供
④	助成対象事業の成果	スマートフォンアプリによる視覚障害者用音声ガイド、聴覚障害者用字幕共に60作品。字幕メガネ貸出の映画館は85館、個人100名、法人は12箇所。ろう学校3校には各4台を寄贈した。DVD用字幕配信は330ディスク実施。バリアフリーデータ制作は3作品。手話と字幕サイト配信5本。舞台芸術向け字幕、音声ガイド配信システムを提供した。
⑤	補足説明事項	映画館を中心とした本事業は、ほぼ目標に到達した。当法人の最大の目標である「バリアフリー字幕と音声ガイドのアーカイブとその利用」については、障害者差別解消法の改定（民間事業者の合理的配慮義務化）により、改めて業界内で推進に向けて検討が始まった。また新規に開発した「手話と字幕」を提供できるサイトは文科省の教育用映像5本に対応できたので、今後は本数を増やしていく。